

JASDAQ  
証券コード：7716

**NSK** 株式会社 **ナカニシ**

ビジネスレポート

[ 第60期第2四半期 ]

平成23年1月1日～平成23年6月30日

## ▶株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは平成23年6月30日をもって、第60期（平成23年1月1日から平成23年12月31日まで）の第2四半期が終了いたしましたので、ここに業績概要につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の経済環境は、企業収益の改善や海外市場の回復により景気を持ち直しが見られたものの、欧州を中心とする金融不安、為替レートでの円の高止まり、東日本大震災後の電力の供給不安及び放射能問題等により景気の見通しが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループは、売上の輸出割合が高く、昨今の長引く円の高止まりは、グローバル競争においてマイナスの影響を与えつつあります。特に、成長牽引役であった欧州市場においては、財政問題による景気悪化懸念により販売が減速いたしました。一方で、国内におきましては、新製品効果もあり好調に推移いたしました。

このような環境のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は、11,272,877千円（前年同期比1.9%増）、営業利益は、3,708,117千円



代表取締役社長  
中西 英一

（前年同期比8.8%減）、経常利益は、3,880,112千円（前年同期比4.2%増）、四半期純利益は、2,678,735千円（前年同期比7.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

### 【歯科製品関連事業】

売上数量は増加いたしました。慢性的な円高により円換算額は目減りしております。加えて成長牽引役であった欧州市場におきましては、販売の減速が見られました。

この結果、売上高は、9,629,722千円、セグメント利益は、4,432,637千円となりました。

### 【工業製品関連事業】

国内外の設備投資の回復により、当社グループにおきましては、携帯情報関連機器の部品加工用として機械装着用スピンドルの売上が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は、1,299,247千円、セグメント利益は、411,451千円となりました。

### 【その他事業】

修理等サービスも堅調に推移いたしました。慢性的な円高により円換算額は目減りしております。売上高は、343,906千円、セグメント利益は、106,895千円となりました。

## ■企業理念

# 堅牢、優美、廉価なものづくりを通して、人類の健康と

● **連結業績** (単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年1月 1日 至 平成23年6月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成22年1月 1日 至 平成22年6月30日)	前 期 (自 平成22年 1月 1日 至 平成22年12月31日)
売 上 高	11,272	11,062	22,213
経 常 利 益	3,880	3,723	7,304
四半期(当期)純利益	2,678	2,498	4,687

● **事業別売上高** (単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年1月 1日 至 平成23年6月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成22年1月 1日 至 平成22年6月30日)	前 期 (自 平成22年 1月 1日 至 平成22年12月31日)
歯科製品関連事業	9,629	9,641	19,289
工業製品関連事業	1,299	1,073	2,281
そ の 他 事 業	343	348	642
合 計	11,272	11,062	22,213

● **地域別売上高** (単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年1月 1日 至 平成23年6月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成22年1月 1日 至 平成22年6月30日)	前 期 (自 平成22年 1月 1日 至 平成22年12月31日)
国 内	2,661	2,190	4,618
北 ア メ リ カ	2,105	2,114	4,204
ア ジ ア	1,590	1,699	3,320
ヨ ー ロ ッ パ	3,018	3,159	6,382
そ の 他	1,900	1,899	3,687
合 計	11,272	11,062	22,213

より良い社会を実現し、全世界の人々との友好を広げる。



## 北米市場で歯科製品関連事業を拡大

当社グループは、北米市場における歯科製品関連事業の業績を拡大させるため、当社連結子会社であるNSK America Corp. (米国イリノイ州) の100%出資子会社として、NSK Dental LLC (米国イリノイ州) をこの度、設立いたしました。本年11月1日より、このNSK Dental LLCから歯科市場の米国大手ディーラーなどへの販路を拡大し、歯科製品の米国市場でのシェア拡大を図ります。

米国における歯科製品の販売は、2004年から米国全土に直販網を持つ歯科用先端工具メーカーのBrasseler USA LLC (ブラスラー社、米国ジョージア州) と独占販売契約を結び、全面委託して参りました。2008年頃までは、思惑通り米国の売上は順調に伸び、NSKブランドは以前に比べてかなり浸透してきましたが、それ以降、売上が伸

び悩み、ブラスラー社の直販体制の限界が見えてきました。

米国市場においては、大手ディーラーの市場占有率が高く、歯科医療機器のマーケット全体の約9割がディーラー経由での販売となっており、将来的な成長を考え、ブラスラー社との独占販売契約を延長せず、商流変更を決定しました。なおブラスラー社とは、11月以降もOEM (相手先ブランドによる生産) として製品供給を継続し、引き続きパートナーとして良好な関係維持を図ります。

この商流の大幅変更に伴い、NSK America Corp.は、シカゴ郊外ホフマン・エステイト市に製品倉庫、セミナールーム、ショールーム等を兼ね備えた新社屋 (延床面積：2,400㎡、敷地面積：12,000㎡) を建設し、この5月に移転いたしました。



## ベトナム工場完成 9月より稼働スタート

平成22年9月に竣工したベトナム工場（NSK Precision Co.,Ltd.）の建設が、本年5月に完成いたしました。東日本大震災の影響で、本年6月に予定していた稼働開始が延期となりましたが、本年9月に稼働いたしました。

新工場では、当面、セミノックダウン方式での生産となりますが、将来的には、部品加工から組立までの一貫生産を目指し、第二の生産拠点として、リスクヘッジと

円高に対応して参ります。



## NEW PRODUCTS

### **NEW** Surgic PRO (サージック・プロ)

SurgicPROは、当社の最重要戦略製品として、本年3月ドイツ・ケルンで開催されたIDS（国際デンタルショー）で発表された口腔外科、インプラント用のマイクロモーターです。本年6月より欧州にて販売が開始され、国内においては、本年11月より販売する予定になっております。

SurgicPROは、現行製品のSurgic XT Plusの次期機種として、あらゆる面で機能UPし、また、操作性、耐久性そしてデザイン性を業界No.1のスペックまで高めた製品です。

マイクロモーターは、LEDライト付インプラント用モーターとしては、業界最小クラスとなる従来比約15%の小型化・軽量化を図りながら、最大80Ncmの高トルクを実現（従来品は50Ncm）しました。

また、洗練されたスタイリッシュなデザインのコントロールユニットには、治療時のデータを自動的に記憶する機能が追加され、手術時のモーターの回転数とトルク値

の条件がエビデンスとして残すことが可能になりました。

SurgicPROは、今後、全世界でますます発展していくインプラント治療において、なくてはならない口腔外科用マイクロモーターとして、ワールドスタンダードとなることを目指しております。

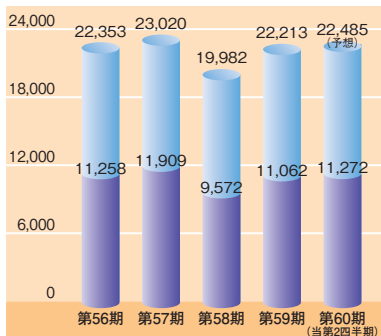


# ▶ 連結財務ハイライト

■ 通 期  
■ 第2四半期

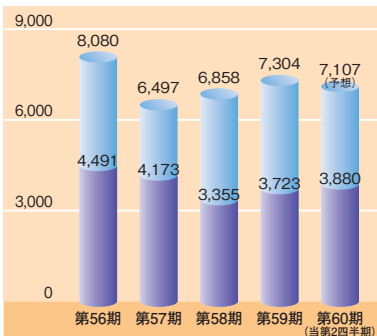
## ● 売上高

(単位: 百万円)

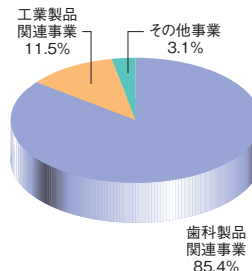


## ● 経常利益

(単位: 百万円)

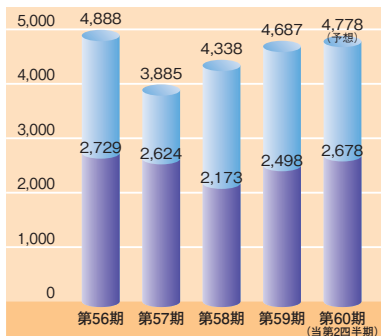


## ● 事業の種類別売上高比率



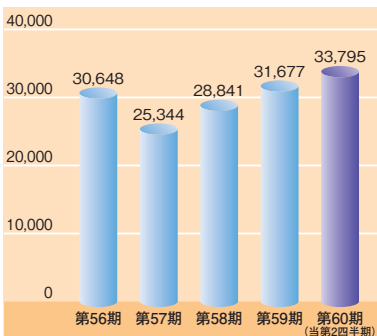
## ● 四半期(当期)純利益

(単位: 百万円)

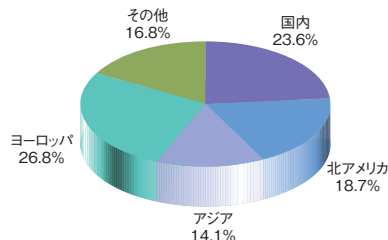


## ● 純資産

(単位: 百万円)

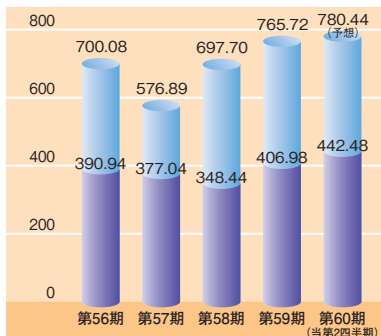


## ● 地域別売上高比率



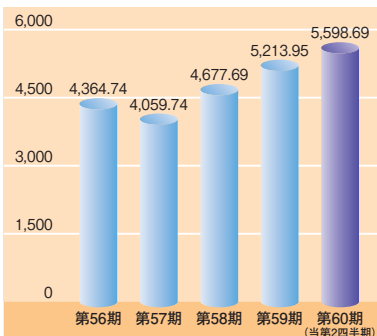
## ● 1株当たりの四半期(当期)純利益

(単位: 円)



## ● 1株当たりの純資産

(単位: 円)



● 第2四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 (平成23年6月30日現在)	前 期 末 (平成22年12月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>26,600,016</b>	<b>23,115,526</b>
現金及び預金	13,284,427	11,934,033
受取手形及び売掛金	3,300,691	3,179,444
有価証券	932,683	1,590,757
金銭の信託	2,499,293	—
商品及び製品	2,241,155	1,892,930
仕掛品	1,710,312	2,078,968
原材料及び貯蔵品	1,667,365	1,588,519
繰延税金資産	512,581	467,426
その他	475,318	399,679
貸倒引当金	△23,812	△16,233
<b>固定資産</b>	<b>10,721,556</b>	<b>11,835,589</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,520,024</b>	<b>4,207,666</b>
建物及び構築物	3,975,433	3,900,935
機械装置及び運搬具	2,067,332	1,902,706
工具、器具及び備品	1,981,465	1,871,202
土地	1,039,178	1,014,050
建設仮勘定	646,984	453,247
減価償却累計額	△5,190,370	△4,934,477
<b>無形固定資産</b>	<b>492,785</b>	<b>535,542</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>5,708,745</b>	<b>7,092,381</b>
投資有価証券	2,987,984	3,506,764
関係会社株式	390,225	381,509
長期定期預金	500,000	1,000,000
保険積立金	1,277,057	1,686,706
繰延税金資産	322,694	331,218
その他	232,878	188,277
貸倒引当金	△2,094	△2,094
<b>資産合計</b>	<b>37,321,573</b>	<b>34,951,116</b>

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 (平成23年6月30日現在)	前 期 末 (平成22年12月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>3,128,999</b>	<b>2,836,558</b>
買掛金	597,951	482,607
短期借入金	110,270	109,339
未払法人税等	1,556,856	1,111,528
その他	863,920	1,133,082
<b>固定負債</b>	<b>397,542</b>	<b>437,198</b>
長期借入金	9,698	13,735
繰延税金負債	726	733
退職給付引当金	246,139	281,749
その他	140,978	140,979
<b>負債合計</b>	<b>3,526,541</b>	<b>3,273,756</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>34,237,881</b>	<b>32,410,606</b>
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,163,548	1,163,548
利益剰余金	34,459,302	32,265,317
自己株式	△2,252,917	△1,886,207
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△564,684</b>	<b>△817,301</b>
その他有価証券評価差額金	48,501	45,718
為替換算調整勘定	△613,185	△863,020
<b>新株予約権</b>	<b>19,333</b>	<b>9,140</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>102,501</b>	<b>74,914</b>
<b>純資産合計</b>	<b>33,795,031</b>	<b>31,677,359</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>37,321,573</b>	<b>34,951,116</b>

Point

資産の部について

総資産は、前期末と比べて2,370百万円増加しました。流動資産が、3,484百万円増加する一方、固定資産は1,114百万円減少いたしました。主な理由は、流動資産は、「現金及び預金」が1,350百万円、「金銭の信託」が2,499百万円増加し、「有価証券」が658百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、機械装置を中心に有形固定資産の取得を行う一方、「有形固定資産」及び「無形固定資産」の償却に加え、「投資有価証券」の早期償還や一部を流動資産へ振替を行ったこと、「長期定期預金」が500百万円、「保険積立金」が409百万円等の減少により減少いたしました。

Point

負債・純資産の部について

負債は、前期末と比べて252百万円増加しました。主な理由は、「買掛金」が115百万円、「未払法人税等」が445百万円増加する一方、「その他流動負債」が269百万円減少したこと等によるものであります。純資産は、前期末と比べて2,117百万円増加しました。主な理由は、「利益剰余金」の2,193百万円の増加に対し、「自己株式」の取得を366百万円実施したこと等によるものであります。

## ▶ 連結決算の状況

### ● 第2四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日	自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日
売上高	11,272,877	11,062,722	22,213,537
売上原価	4,525,108	4,106,905	8,792,541
売上総利益	6,747,769	6,955,816	13,420,996
販売費及び一般管理費	3,039,651	2,890,930	5,820,140
営業利益	3,708,117	4,064,885	7,600,856
営業外収益	182,824	101,553	205,129
営業外費用	10,829	443,273	501,640
経常利益	3,880,112	3,723,164	7,304,345
特別利益	445,307	344,084	343,875
特別損失	9,010	1,860	11,588
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,316,409	4,065,389	7,636,631
法人税、住民税及び事業税	1,650,879	1,486,826	2,724,734
法人税等調整額	△37,424	55,885	187,030
少数株主利益	24,218	24,354	36,954
四半期(当期)純利益	2,678,735	2,498,323	4,687,912

## Point

### 損益計算書について

売上高は、前年比1.9%増の11,272百万円の増加となりました。円高の影響により前年の為替レートで換算した場合と比べて327百万円目減りしております。販売管理費においては、人員の増加及び本社東京事務所の移転に伴い、販売管理費は前年に比べ、148百万円増加しました。営業外損益においては、為替相場が想定社内レートより円安ドル高ユーロ高であったことから、105百万円の為替差益の計上となり、経常利益では、前年比156百万円の増加となりました。

### ● 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期	前 期
	自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日	自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,753,372	1,930,987	4,434,661
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,629,438	54,575	△660,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△855,824	△516,814	△1,257,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	203,436	△600,753	△680,048
現金及び現金同等物の増減額	471,544	867,995	1,836,382
現金及び現金同等物の期首残高	7,632,803	5,796,420	5,796,420
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	8,104,347	6,664,415	7,632,803

## Point

### キャッシュ・フロー計算書について

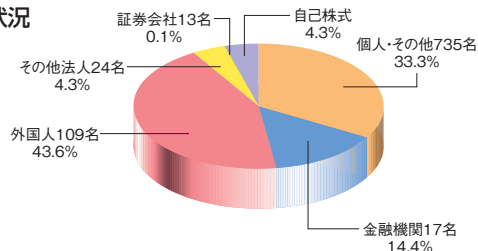
営業活動によるキャッシュ・フローは堅調に推移しましたが、法人税等の支払により資金を使用しました。当社での機械装置への設備投資や米国子会社の建物新築工事等に加えて金銭の信託の取得により資金を使用いたしました。また、配当金の支払及び自己株式の取得のために資金を使用しました。これらの結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は前期末より471百万円増加しました。



## ▶株式の状況 (平成23年6月30日現在)

- 発行可能株式総数……………25,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 6,283,960株
- 株主数…………… 899名

### ●株式分布状況



### ●大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	616千株	9.8%
中 西 英 一	489千株	7.8%
中 西 賢 介	395千株	6.3%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	302千株	4.8%
中 西 崇 介	286千株	4.6%
中 西 千 代	286千株	4.6%
ビービーエイチ フォー ファイリテイー ロープライス ストック フアンド	271千株	4.3%
ザチースマンハッタン バンク エヌエイロボン エスエル オムニバス アカウト	243千株	3.9%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	233千株	3.7%
ジェービーエムシービー オムニバス ユーエス ペンション リーダー ジャスティック 380052	169千株	2.7%

## ▶会社概要 (平成23年6月30日現在)

社 名 株式会社 **ナカニシ**  
(NAKANISHI INC.)

設立 昭和26年2月

代表者 代表取締役社長執行役員 中 西 英 一

資本金 867,948,542円

従業員数 651名 (正社員510名)

本社 栃木県鹿沼市下日向700番地

事業所 本社・工場／東京事務所  
大阪事務所  
ドバイ事務所 (UAE)  
モスクワ事務所 (ロシア)  
シンガポール事務所 (シンガポール)

主要関係会社 NSK-AMERICA CORP. (アメリカ)  
NSK EUROPE GmbH (ドイツ)  
NSK FRANCE S.A.S. (フランス)  
上海弩速克国際貿易有限公司 (NSK SHANGHAI CO., LTD. 中国)  
NSK OCEANIA PTY. LTD. (オーストラリア)  
NSK UNITED KINGDOM LTD. (イギリス)  
NSK DENTAL SPAIN S.A. (スペイン)  
NSK Precision Co.,Ltd. (ベトナム)

主要取引銀行 足利銀行、みずほ銀行、  
三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行

役 員 代表取締役社長 中 西 英 一

代表取締役副社長 中 西 賢 介

常務取締役 押 田 薫

常勤監査役 戸 田 洋 子

監査役 (社外) 野長瀬 裕 二

監査役 (社外) 竹 澤 一 郎



- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| ■事業年度                       | 1月1日から12月31日まで  |
| ■定時株主総会                     | 毎年3月中   |
| ■配当金受領株主確定日                 | 期末配当金 12月31日<br>中間配当金 6月30日<br>※中間配当の実施を取締役会で決議した場合   |
| ■株主名簿管理人<br>郵便物送付先<br>電話照会先 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社<br>〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>中央三井信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）<br>取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。              |
| ■単元株式数                      | 100株  |
| ■株式取扱手数料                    | 単元未満株式買取手数料……………無料  |
| ■公告方法                       | 電子公告 <a href="http://www.nsk-nakanishi.co.jp">http://www.nsk-nakanishi.co.jp</a><br>ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。                                     |
| ■お知らせ                       | ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について<br>株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。<br>なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。<br>・未払配当金の支払いについて<br>株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。 |



Powerful Partners®



本社：〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向700番地  
TEL 0289(64)3380 FAX 0289(62)5636

このレポートは再生紙を使用しております。